

## 1 組企画 『KOTO ワイン盛岡』 見学会報告

- 1 日 時：8月29日（木）午前10時15分～午前11時30分
- 2 集 合：盛岡バスセンター（水戸谷さんの車で移動）
- 3 参加者：3名（馬場、水戸谷、宮下）
- 4 【株式会社KOTO ワイン盛岡（盛岡市乙部。吉田千尋代表取締役）】

KOTOは地元地区の「黒川（K）」、「乙部（O）」、「手代森（T）」、「大ケ生（O）」の頭文字です。

同社は地域の耕作放棄地を活用して栽培したブドウで、地元産ワインを醸造することを目的に2021年に設立され、2023年12月に最初のワインを販売した若い会社です。

乙部地区は県内有数のリンゴ産地ですが、高齢化などにより離農が進み、耕作放棄地が増えるなどの課題があったことから、同社代表の母である吉田ひさ子さん（(有)につかいてコミュニティ企画代表取締役、岩手日化サービス(株)相談役）らが地元企業約30社で「地元企業ネットワーク」を2010年に立ち上げ、地域活性化の取り組みを行ってきたということです。

そのような活動をベースに、ひさ子さんの娘の千尋さんが中心となって耕作放棄地でのブドウの栽培、そして地元産ワインの製造へとつながって来ています。「KOTO ワイン盛岡」の設立をもって、「地元企業ネットワーク」は解散されたそうです。

また、(有)いわたにつかコミュニティ企画が運営する「めだかの園」（就労継続支援B型事業所）と連携し、入園者の皆さんに農園作業や醸造作業でお手伝い頂いているということでもあり、地域に溶け込んだ事業活動に注目されるものがあります。

## 5 【見学内容】



ブドウ園



醸造所兼店舗

5名の参加予定でしたが、2名が事情により直前で参加できなくなり、3名での見学となりました。

はじめに、同社代表の父母である吉田廣身さん（岩手日化サービス(株)会長）とひさ子さん（前掲）にぶどう栽培の圃場を案内して頂きました。圃場は5カ所で、2.3haあるとのことでした。今回は、4カ所を案内して頂きました。古い圃場は7年目ですが、新しい圃場はまだ数年しかたっており、これからの生長が楽しみです。

その後、醸造所（兼店舗）に戻り吉田千尋代表に施設の案内をして頂きました。こじんまりとした醸造所ですが、①タンク室、②瓶詰室、③倉庫（ラベル貼り作業も行える）、④分析室、

⑤販売店舗など、必要な設備がコンパクトに配置されていました。

最後に、店舗スペースで3種類のワインを試飲させていただきながら、千尋代表とひさ子さんと意見交換をさせて頂きました。KOTO ワインは甘口の飲みやすいワインに感じました。今年は、これから醸造作業に入り、12月には製品が販売されるということです。「シニアの会」の会員の皆さんにも、是非、ご賞味頂きたいと思います。

在庫状況や購入方法などは同社ホームページ (<https://koto-wine.com>) で確認して下さい。